

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 2 例 (感染地域: フィリピン 1 例、インドネシア 1 例)、細菌性赤痢 10 例 (感染地域: 神奈川県 1 例、中国 3 例、ネパール 1 例、カンボジア 1 例、スリランカ 1 例、パプアニューギニア 1 例、インド/ネパール 1 例、疑似症 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 158 例 (うち有症者 100 例、HUS 5 例) (感染地域: 国内 155 例、米国 (ハワイ) 2 例、国外 (国不明) 1 例) 国内の多い感染地: 佐賀県 (25 例)、大阪府 (9 例)、岡山県 (9 例)、熊本県 (9 例) 年齢群: 10 歳未満 (62 例)、10 代 (24 例)、20 代 (26 例)、30 代 (12 例)、40 代 (7 例)、50 代 (9 例)、60 代 (6 例)、70 歳以上 (12 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (65 例)、O26 VT1 (44 例)、O157 VT2 (28 例)、O111 VT1 (3 例)、O103 VT1 (2 例)、O25VT1・VT2 (1 例)、O26 VT1・VT2 (1 例)、O91 VT1 (1 例)、O151 VT1 (1 例)、O121 VT2 (1 例)、O145 VT2 (1 例)、その他/不明 (10 例)
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例 (感染地域: 石川県 1 例、長崎県 1 例、熊本県 1 例)、デング熱 1 例 (感染地域: フィリピン)、日本紅斑熱 1 例 (感染地域: 鹿児島県)、マラリア 2 例 (三日熱 1 例 (感染地域: パプアニューギニア)、熱帯熱 1 例 (感染地域: ギニア))、レジオネラ症 10 例 (全て肺炎型) (年齢群: 40 代 1 例、50 代 2 例、60 代 3 例、70 代 4 例) 感染地域: 茨城県 2 例、富山県 2 例、栃木県 1 例、石川県 1 例、愛知県 1 例、福岡県 1 例、国内 (都道府県不明) 1 例、マレーシア 1 例 (温泉)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 12 例 (腸管アメーバ症 8 例、腸管外アメーバ症 3 例、腸管および腸管外アメーバ症 1 例) (感染地域: 国内 9 例、中国 1 例、韓国 1 例、タイ 1 例) 感染経路: 経口 2 例、性的接触 7 例 (異性間 2 例、同性間 4 例、不明 1 例)、不明 3 例)、ウイルス性肝炎 5 例 [B 型 3 例 (感染経路: 性的接触 2 例 (異性間 1 例、同性間 1 例))、不明 1 例) C 型 2 例 (感染経路: 性的接触 (異性間) 1 例、鋭利なものの刺入 1 例)、急性脳炎 1 例 (病原体不明、40 代)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例 (孤発性プリオン病古典型)、後天性免疫不全症候群 17 例 (無症候 9 例、AIDS 7 例、その他 1 例) (感染地域: 国内 15 例、国外 (国不明) 1 例、国内/アフガニスタン 1 例) 感染経路: 性的接触 15 例 (異性間 3 例、同性間 12 例)、不明 2 例)、ジアルジア症 2 例 (感染地域: 国内 1 例、セネガル 1 例)、梅毒 4 例 (早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 3 例)、破傷風 2 例 (40 代 1 例、70 代 1 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 22 週以降、減少が続いている。都道府県別では沖縄県 (0.40)、宮崎県 (0.09)、熊本県 (0.04) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 70 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 80% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 3 週連続して減少したが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では宮崎県 (3.2)、奈良県 (1.9)、鳥取県 (1.8)、三重県 (1.8) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 25 週以降、減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では秋田県 (1.00)、奈良県 (0.91)、大分県 (0.89) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では福井県 (8.6)、大分県 (5.7)、宮崎県 (5.0) が多い。水痘の定点当たり報告数は 2 週連続して減少した。都道府県別では福井県 (1.8)、徳島県 (1.6)、埼玉県 (1.1) が多い。手足口病の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では福井県 (4.6)、石川県 (3.4)、新潟県 (3.3) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では宮崎県 (0.71)、静岡県 (0.57)、宮城県 (0.48) が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では千葉県 (0.10)、沖縄県 (0.03) が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岩手県 (0.03)、香川県 (0.03) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 28 週以降、減少が続いている。都道府県別では高知県 (2.1)、北海道 (2.0)、青森県 (2.0) が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では奈良県 (0.06)、大分県 (0.06) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では新潟県 (3.6)、鹿児島県 (3.4)、長野県 (2.6) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府 (2.4)、群馬県 (2.4)、愛媛県 (1.2) が多い。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点									
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																							
愛媛県	.1	.8	.4	4.6	1.0	.7	.3	1.1				1.1	.8	2.5			1.2						
近畿	香川県		.5	.3	2.3	.5	1.0	.2	.7			.0	.8	1.1		.7							
	徳島県	.1	.7	.4	.7	1.6	.3	.2	.6			.6	2.0	.7									
	高知県		1.2	.4	2.2	.4	1.6	.1	.9			2.1	.7	1.3						.1			
全国	.0	.0	.8	.5	2.2	.7	.9	.3	.6	.0	.0	.8	.0	1.2	.0	1.2	.0	.1	.4	.0			
北海道		.0	.9	.6	.8	.8	.8	.1	.6		.0	2.0	.1	1.5		.7							
東北	.0	.0	.5	.5	1.8	.7	.5	.4	.5		.0	1.2	.0	1.3	.0	.7	.0	.0	.4	.0			
関東	.0	.0	.6	.4	1.6	.7	.9	.3	.6	.0	.0	.4	.0	.9	.0	1.5	.0	.0	.5				
甲信越北陸	.0	.0	.8	.5	2.5	.7	2.7	.2	.6	.0	.8	.0	2.1	1.7		.2	.3						
東海	.0	1.0	.5	2.0	.9	1.5	.5	.6	.0	.0	.6	.0	1.1	.0	.7	.1	.4						
近畿	.0	.0	.8	.5	1.9	.6	.8	.2	.6	.0	.0	.7	.0	1.1	.9	.0	.3	.6					
中国四国	.0	.0	.8	.4	3.0	.6	.5	.2	.7		.0	.9	1.0	1.3	.0	.1	.4						
九州沖縄	.0	.1	1.2	.5	3.3	.7	.4	.2	.9	.0	.0	.8	.0	1.3	.2	1.5	.0	.3	.0				

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (8月24日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第33週 (2006.8.14 ~ 8.20)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																					
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第33週報告数	全 国	2	10			158			3						1	1				2				10		12	5	1		1		17	2			4	2					
	四 国	愛 媛 県																																								
		香 川 県																																								
		徳 島 県																																								
		高 知 県																			1																	1				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					3																																			
		東 北 道					6														1																					
		関 東 圏	1	7			25									1										4		6	3					11	1				2			
		甲信越北陸		1			20			1																4																2
		東 海 道					12																			1																
近 畿 圏						22																					3	1														
中国四国						17															1																					
九州沖縄	1	2			53				2															1																		
週 推 移	全 国	33週	2	10		158			3						1	1				2				10		12	5	1		1		17	2				4	2				
		32週		12		140	1			1										1				9		7	6					14					5					
		31週	1	7	2	1	145			1						2					1			23		7	2		2	7	1	13	1				5	2				
		30週	1	6	2		191			3	1													15		14	1	1				11	2				13	4		2		
2006年累積数	全 国	34	257	52	16	2034	45		237	15	15	1	1	174	30	15		3		1	38			4	303	1	461	165	105	10	101	81	778	59	9		380	64		43		
	四 国	愛 媛 県		4	2		13			4					1											1	2	3	1		2			6				2				
		香 川 県					11			1		2	1														3	2					1		3				6			
		徳 島 県					16																				3						1						3	1		
		高 知 県		2	1		1			2											2						1	1	2						3			21	1			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					35	12		12	14				1			1						2	7		11	4	3	2	4	6	20	1				7	2			
		東 北 道	1	5			189	2		9				99							4				17		16	13	4		5	4	25			1		20	1		4	
		関 東 圏	18	109	32	12	510	15		48		5		1	7	15					19				96		219	39	40	6	31	29	413	26	4		121	22		16		
		甲信越北陸	7	17	3	1	127	4		21		1			41	2					4				41		12	12	9	1	14	5	35	7	1		12	6		3		
		東 海 道	2	25	5	2	263	3		30	1	2			4	6					1			2	44		53	23	9		8	14	84	2	1		41	3		7		
近 畿 圏		1	77	7	1	352	2		61		3			2	3	2				1	6			56	1	112	44	13	1	13	16	146	15	1		49	5		7			
中国四国		2	10	3		211	2		33		2	1		10	1	5					3				29		18	17	13		15	5	31	3			49	8		2		
九州沖縄	3	14	2		347	5		23					11	2	8					1				13		20	13	14		11	2	24	5	1		81	17		4			

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.8.24集計)